

2018年6月25日

JR九州バス株式会社

～佐賀県地域創発による地域交通モデル事業を活用～

路線バスで双方向通訳サービスを開始します！

[通訳がいるかのような対話が可能](#)

JR九州バス株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:植弘靖彦)では、このたび、佐賀県内で増加する訪日外国人旅行者への案内サービスの充実を図るため、手のひらサイズの双方向通訳デバイス(以下:通訳機)を用いた多言語対応の対話サービスを路線バスで開始します。

詳細は以下の通りです。

1. 開始日

2018年7月1日(日)

2. 対象車両数

佐賀県内を運行する路線バス(嬉野線)全車両

3. 概要

バス車内で訪日等の外国人のお客さまから、運転士に対して路線バスに関するお尋ね等があった場合、『バス運転中以外』に限り(※)、携帯する手のひらサイズの通訳機を用いて、多言語対応の対話サービスを行います。

※ バスを運転しながらの通訳機操作は、片手運転になることや、運転以外に意識が集中してしまい、周囲の危険を発見することができず、歩行者や他の車に衝突するなど、重大な交通事故につながり得る極めて危険な行為となりますので、サービスを行いません。

4. お客さまへの周知

バス車内の広告枠等に案内文を掲示して、対話サービスの周知を図ります。

5. その他

- ・ 佐賀県地域創発による地域交通モデル事業とは、県内の地域の実情に応じた移動手段確保を検討して、新たな利用促進取組を行う市・町・バス事業者等に対して行われる佐賀県の支援事業です。
- ・ 通訳機は、ソースネクスト株式会社の「POCKETALK(ポケットーク)」です。本製品は、入力された音声をクラウド上で高度な処理を行い、翻訳された情報を正確に瞬時に返します。互いに相手の言葉を話せなくても対話ができる手のひらサイズのIoT通訳機です。



【お問合せ】

JR九州バス(株)企画部 淵上

TEL:092-642-8121